





儀玄全集末書上卷之七

出陣

- 一 右陣前儀作法并看組乃事
- 二 右陣中儀作法乃事
- 三 右陣後儀作法乃事
- 四 御旗中儀作法乃事
- 五 御旗前儀作法乃事
- 六 小身の儀家中儀脇儀御旗中組乃事
- 七 打續儀作法乃事

ケ

一 出陣  
二 軍配  
三 軍旗  
四 軍鼓  
五 軍砲  
六 軍銃  
七 軍弓  
八 軍矢  
九 軍槍  
十 軍刀  
十一 軍鎧  
十二 軍甲  
十三 軍笠  
十四 軍靴  
十五 軍履  
十六 軍襪  
十七 軍袴  
十八 軍褌  
十九 軍襦  
二十 軍袴

信玄全集 卷之七 出陣

○一 出陣 祝代法并着組れ事

それ出陣の法と軍配者として吉色と若  
へ吉日良辰と二三事てあつても吉よつと  
あつてもつる又吉なりつるやども穿<sup>セ</sup>致<sup>サ</sup>し  
て軍配と大柄の御<sup>ミ</sup>いぶと心付<sup>ココロ</sup>なりく軍配  
よつとつる事ありれ ねえまじらひ書あり 相<sup>アヒ</sup>そ目  
おどくといふ大柄吉方よひつひて禮<sup>レイ</sup>とさ  
し終て吉方よひつひなりく團扇<sup>ウチ</sup>或ら  
さいふと持てたの足とよあてて八文  
字<sup>シ</sup>形<sup>カ</sup>よなりし 出陣祝の着<sup>キ</sup>柄<sup>ハ</sup>と物<sup>モノ</sup>

角一匹着けらるるありしは、  
是と二種の着せしり、  
のみきとりあがり可  
らちあまびい九ツ  
田五横よとくあり九  
ゆへあり決よかち粟  
らみみこわひといよ  
よきりて一とれあり  
まのく人よるをさか  
松云ふて家のくは

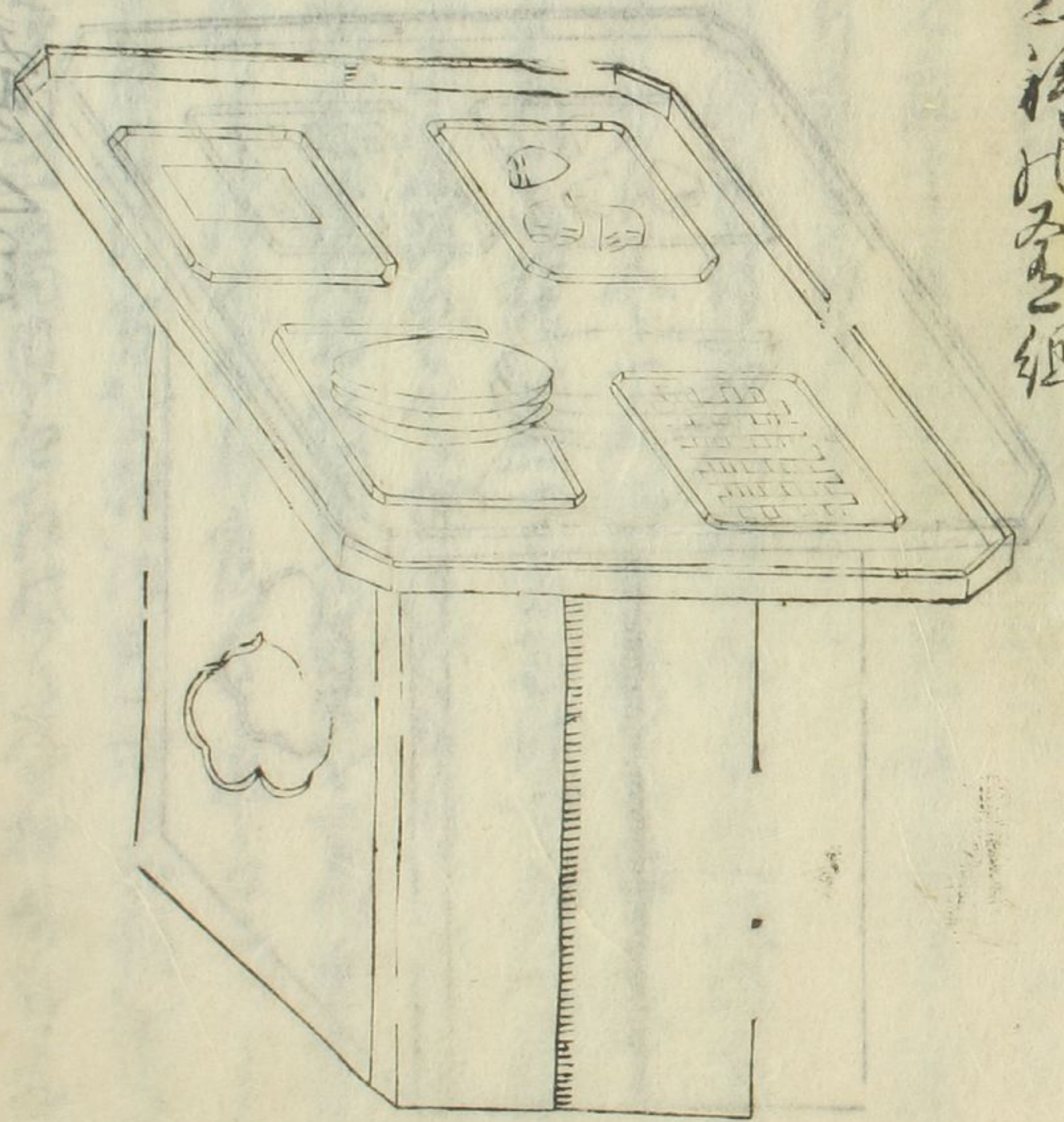
と用て可あり

一 大物石の着せと食  
わよびいり食一のひ  
まのく一うちうひと  
けきと税ありそ耐  
用て勝れしうち勝  
きとけうち勝れし  
一 湯ははけは法を  
を人懸子一人あり  
奉 軍神を酒と湯



常とよとれを何と云て或とりの合を  
 ありかりそありもあつるはむむむむ  
 大物ありを能敵のよはのら偏物あり  
 物と後よりあり常と後常とありむ  
 ありりんぞありの常ありありあり  
 あり常ありありありありありあり  
 ありありありありありありありあり

お捧三持けみ組



1. 盆  
 2. 鉢  
 3. 盤  
 4. 俵  
 5. 籠  
 6. 籠  
 7. 籠  
 8. 籠  
 9. 籠  
 10. 籠  
 11. 籠  
 12. 籠  
 13. 籠  
 14. 籠  
 15. 籠  
 16. 籠  
 17. 籠  
 18. 籠  
 19. 籠  
 20. 籠  
 21. 籠  
 22. 籠  
 23. 籠  
 24. 籠  
 25. 籠  
 26. 籠  
 27. 籠  
 28. 籠  
 29. 籠  
 30. 籠  
 31. 籠  
 32. 籠  
 33. 籠  
 34. 籠  
 35. 籠  
 36. 籠  
 37. 籠  
 38. 籠  
 39. 籠  
 40. 籠  
 41. 籠  
 42. 籠  
 43. 籠  
 44. 籠  
 45. 籠  
 46. 籠  
 47. 籠  
 48. 籠  
 49. 籠  
 50. 籠  
 51. 籠  
 52. 籠  
 53. 籠  
 54. 籠  
 55. 籠  
 56. 籠  
 57. 籠  
 58. 籠  
 59. 籠  
 60. 籠  
 61. 籠  
 62. 籠  
 63. 籠  
 64. 籠  
 65. 籠  
 66. 籠  
 67. 籠  
 68. 籠  
 69. 籠  
 70. 籠  
 71. 籠  
 72. 籠  
 73. 籠  
 74. 籠  
 75. 籠  
 76. 籠  
 77. 籠  
 78. 籠  
 79. 籠  
 80. 籠  
 81. 籠  
 82. 籠  
 83. 籠  
 84. 籠  
 85. 籠  
 86. 籠  
 87. 籠  
 88. 籠  
 89. 籠  
 90. 籠  
 91. 籠  
 92. 籠  
 93. 籠  
 94. 籠  
 95. 籠  
 96. 籠  
 97. 籠  
 98. 籠  
 99. 籠  
 100. 籠



のより人数二千以上とあり又百千人  
 数とある教一ツとてゆくと押ゆくあり又大軍  
 と一組とありふと教あり  
 三惣長柄鎧をひくと港平中より一橋つ  
 港の先より突ゆくあり但士大柄の毛柄を  
 先へそ次より急ゆゆとあは港とゆくとあ  
 あり  
 四柄弓柄筒の足將大柄押やうゆ儀武先り  
 流炮と同一  
 五柄鎧をひ武人あ方と港の岸より突く  
 ゆゆゆあり但高着と右れ方高と

六とゆゆあり  
 七士大柄のる中武人なり武人る鎧の  
 先より高着あり  
 七武人なり武人士大柄の少高よた右を  
 着よ案ゆくあり押と教とゆくと  
 八とゆゆあり  
 九使武人又張糸つゆあり  
 十かせりの小者中る  
 十一士大柄のるのた右と柄武人  
 十二小人中るかせりの



十二使或者二三騎交のゆくあり  
古同心被官の成たる具とるれた右よ引ついで  
紫ゆくたつり

十五武者なり三人も陰なり三人持陰なり二人は  
八六人をあ中れらあ六なり也おん法法夜也書  
ありてあは勿論の押の河敷地うらふ会ありて相見  
一ゆくは祥の六なり三人的番の成りあり

十六家中の扱能也の先人たをてとる淨能也  
そ介能より刃分はうとととありあり  
十七初ま人教地うても道ありさいかのてす  
ゆりあり淨能也うらふ新の成りてす

てなとけくともる

十八人数と二りよはは対標たうら或も細と  
は右より先へ通るへ

〇四 筆跡抄書上巻

○三 右に由押引列び受のる

常番

旗奉行之騎

鑑

甲

旗

旗

旗

旗

那番

旗奉行之騎

鑑

甲

非番

弓張弛足輕大將

張

甲

弛

右  
貝  
敬

弓張弛足輕大將

鑄

甲

弓張弛足輕大將

弓張弛足輕大將

長柄同同

惣長柄奉沙  
張  
甲

長柄同同

同  
張  
長柄同同

同  
張  
長柄同同

洗炮与洗炮与洗炮

特鏗奏以去舞  
甲 德

洗炮与洗炮与洗炮

长柄德同同同

高者  
馬駘奔以三德  
甲

长柄德同同同

馬京京人  
人

馬京京人  
人

馬駿駿行三  
非着 德 甲

馬駿駿行三  
非着 德 甲

螺

左敏

馬 智 索

一三三

馬駿駿行三  
非着 德 甲

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

小人能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

使若言驛使者言驛能  
甲 小人  
中 中名

走驢与力走驢同同  
走

*Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '走', '驢', '力', '同', '同'.*

行宿走驢同同同同  
走

*Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '行', '宿', '走', '驢', '同', '同', '同', '同'.*

行宿走驢同同同同  
走



○四 沖籠平由押作法のみ

由と押引候と以陣面と定陣面と候事  
以以由の揚と見定ら由場と定て合致  
傷と候ら故と勝負不能あり

一 足指大指我らるる一と先よ指を同心足

指とつれと押へ 但馬系同心と足指大

人のつれとを踏け 兼へ一自身の内

道具と馬の右よ引つて兼あり

二 並の右柄拳引み捨たよを踏つて長柄の

先よ牽て押へ

三 沖長柄式百中奉引の是も又十中の一踏

一 引るより候式を右同

四 並の懸籠を以踏さうとつれと踏の初え

よ牽て押へ

五 物筒持らの足指大指を系同心を踏よ足指

又二人つとつて初よ足指大指を牽て押あり

る系ありと親が初よつ並を初よ自分れ

る系とのせまる下と引付先よ指を均及具成

馬の右指と指らるる頭も同心被官もめ成

但物筒持らの大指の廻り番ありて吾人を

以初よ初に陣面由立の河も同し一初又由立

足指大指ら何も大勇をれは日分の系

も多し一それ故にのちそれより先へ救<sup>レ</sup>を結  
縛<sup>レ</sup>りしものあり

六 此抄卷式拾二の長身柄を圓赤網つて  
をトしを戸人又寸計の黒をこの尾にそゆ  
かりとけりまらり一さけつる海あり四式  
かハ龜の甲れしつくりらん向のあり  
も劍種陰ありなりと式跡海のた右に  
のり苗番と名あり時番いたるり時番の  
或ふ故ちりく心身復とけりつる是七  
各書あり

七 此抄十一の先ハ地の上ハ朱の丸に

朱の丸をトし朱の丸を或は或田書あり  
是ハ地をトし傳り動羅二の即教えとのハ  
族のうつりあり 三ハ情入書書海の  
族三ハ白地よ書よて書 三ハ晴置地  
藏の族式本 四ハ法語下下大明神の族  
又ハ何をも二のけりあり或時と書地朱  
しして書つる事もあり又正元元年二月  
東にたは海海の初ら四の語と書つる  
種と物と語よ其語一其疾如風 二其  
靜如林 三侵掠如火 四不動如山 右是  
たし合ら拾式なり奉りハ式人族の

收先の各番ふ案あり

八押使或者拾貳騎内三騎ハ押後ノ案是  
右此法ハ所用ノ為あり

九或者奉引或人ハ押するの先右と左  
番番と右とのりして後方跡先とてこれ  
さる様ノ者下知とあり此番ハ右と左と  
敵ちり付と物人ノ物とてさる様ノ者  
様子とカハ計者下知所要ありを次ノ者  
の共人前百貳拾人押馬の番ノ計ハ三騎  
是ハ此横目也様々の様々の番とて更  
此中より貳騎是ハ同付也此中より八騎二十

人前既ハ騎ハ此鷹ノ其の右持新前ノ  
押ありハ此右持ノ計計付の口脇持大  
才ノ千余腰小袖羽織何角多ク入あり是も  
二人つゝ番ノ替り共人前も一日一替つ番替  
十持筒持り是將大持二人の内一人番ノ替り  
室々押或書ノ者も是將大持とわり  
上此小人中より此の廻りハ此法はあり但人  
リ番ノ替りハ此の番ノ替りハ此の替り  
とてさる様ノ者下知とあり此番ハ右と左と  
は或る様ノ者下知とあり此番ハ右と左と  
能事とてさる様ノ者



○五 湯臨中由押致難之次第

馬車 飛着

螺 七部

馬車 蓄番

甲 繼 湯臨大將之騎 湯道真

甲 繼 湯臨大將之騎 湯道真

地弓 地弓 地弓 同心志騎 地弓 地弓

地弓 地弓 地弓 同心志騎 地弓 地弓

金華書院藏

飽後

同

張

當番

馬

飽後

同

張

鞍長柄

甲

張

鞍長柄同同同

柄

甲

鞍

那

馬甲  
同者

河長柄奉乃志驕 山虫柄同  
甲

馬甲  
同者

河長柄奉乃志驕 山虫柄同  
甲

同同同

同者  
河長柄奉乃志驕 山虫柄同  
甲

同同同

此字同

同 同 物 此 字 同 此 字 同

此字同

此字同

馬

此 字 同 此 字 同 此 字 同

甲

當

此 字 同 此 字 同 此 字 同

甲

馬



同同同

高壽  
中  
中  
甲

同同同

中  
中  
中  
中

中  
中  
中  
中

中  
中  
中  
中

卷五

甲 江使著 德

甲 志新 德 江使著 甲

螺 左敬 水水水水

甲 江使著 德

馬市 德 志新 德 江使著 甲 德 志新 德 江使著 甲

馬市 德 志新 德 江使著 甲 德 志新 德 江使著 甲

卷五

驕也

驕也

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕也

驕也

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕

驕大將

驕也

驕

驕

驕

驕

此中人既

使奉著

中人

中人

使奉著 御 應 中 奉 著

中人

中人

此中人既

地與地  
同心

馬 御 待 簡 御 托 之 輕 大 將 之 甲

地與地  
同心

驍

走驍 驍 驍 驍  
驍 驍 驍 驍  
驍 驍 驍 驍  
驍 驍 驍 驍

走驍 驍 驍 驍  
驍 驍 驍 驍  
驍 驍 驍 驍  
驍 驍 驍 驍

御 出 驍 以 驍 驍  
驍 驍 驍 驍 驍 驍  
驍 驍 驍 驍 驍 驍

御 出 驍 以 驍 驍  
驍 驍 驍 驍 驍 驍  
驍 驍 驍 驍 驍 驍

同同同同同

同同同同同

淨後細品列

淨後細品列

淨後細品列

小荷

旗本行儀

○六 小使は詰室中後儀脇儀所儀に  
組むる儀も打續儀押代法の事

- 一 惣旗替りのを張掛旗のさきこゝをきて押  
ゆるるの儀なるは二つは押時と旗の  
両方の向の先よなるは是ハ惣旗なるはと  
つゝありて番番と惣旗非番とさき下の儀は  
とらる所の事あり
- 二 弓矢炮足將大將收官乃具とつて是より先よ  
押るの道廣くハ二つハ押番番ハ右と三  
番目と左あり
- 三 惣長柄持又下付よを張つての儀は旗の如  
きは二つ一日つゝ番番ありハ二つハ押時ハ二人  
の儀は乃具の先よなるあり

四 士大物等習 又なる中武弁 六 士大物  
 付リるの者一将者等一持巻を以て押を  
 報之るは初之る者中より歩行者其次に騎  
 四又騎士大物乃之へのさるるは一も二三騎  
 等つり一隊之へ使し一越つるあり相同の  
 處を以て一隊中乃之るあり  
 七 加指の小物一へ小隊或は其の二へ  
 一と下知されは或は其の一人一へ  
 ありあり  
 八 隊之の行列作法と油取の下知と守と  
 一も遠く背の油取あり

異弁の行列

列の初く可也動くものへ又靜海に  
 理あり然に隊動て為る其作法と行列  
 と云るあり

- 一二先 足燈 長柄 惣旗 持筒
- 持鎗 旗 使武者 武者等あり 目付
- 横目 歩卒 全敵 大将 中者 敵足燈
- 後隊 隊長 維旗 先小物等あり 小物等
- 隊小物等あり 以上

信玄全集末書上卷七終



金瓶梅詞話卷之...

新刻金瓶梅詞話卷之...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

